

投稿年月日	平成 27 年 12 月 8 日	投稿者	西有家中学校 3 年生
ご意見・ご提案 内 容	私たちは、「閉校した学校を少年自然の家のようにする。」という案を考えました。 私たちの住む西有家町は、今年度で 5 つの小学校が閉校し、1 つの学校に統合されます。これらの学校をなんとか活かせないかと考えました。 校舎内には、南島原の良さを P R する場所を設けます。 内容は、 ①ジオパークにも認定されている南島原の自然の豊かさ ②おいしい食べ物（農産物やそうめん） ③キリスト教関連遺産などの歴史です。 特産物は実際に販売できるようにします。宿泊には民泊を利用します。市が取り組んでおられる民泊は、好評で年々利用者が増加していると聞きました。 このようにして旅行客が増えると、南島原市の評判が良くなり、観光客が増え、税収も上がり、市の活性化につながるのではないかと考えます。なかには定住する人も出てくると人口増加にも結びつかないかと考えます。		
回 答	この度は、貴重なご意見ありがとうございます。 南島原市の将来を担う中学生の皆さんが、自分たちの住むまちのことを真剣に考えおられることを大変心強く思います。 さて、皆さんもご存じのとおり、本市では、少子化等による児童生徒数の減少に対応し、より望ましい教育環境の整備を図るため「南島原市立小学校適正規模・適正配置実行計画」を策定し、この計画に基づき、毎年、小学校の統廃合を進めています。 そして、閉校になった学校をどのように利活用していくか、ということは本市の大きな課題の一つとなっています。 そのため「南島原市閉校利活用検討委員会」という組織を設け、ここで、利活用方針を検討しています。その検討の際には、学校区ごとに設置されている閉校準備委員会（学校関係者や地元の方々と組織されています）からのご意見やその他、市民の皆様のご意見をお聞きしながら方針を決定するようにしています。 今回、いただいた「閉校した学校を少年自然の家のようにする」というご提案につきましても、利活用検討委員会へ報告し、協議の参考とさせていただきます。 また、本年度から、加津佐の山口小学校、津波見小学校、西有家の旧長野小学校塔ノ坂分校については、「地域おこし協力隊」を配置し、地元の方々と話し合い、各学校でワークショップやイベントなどを行		

	いながら、並行して利活用計画の策定を進めています。まだ策定の途中ですが、その大きな方向性としては、 「多くの人々が集まる交流施設」 「自然・食・歴史などの地域資源を活かして南島原市の魅力を伝える施設」 「定住や集落の維持・活性化に効果のある取組を行う施設」 「地元特産物を効果的にPRあるいは販売する施設」 などを目指しており、皆さんの考え方と一致しているのではないかと思います。 いずれにしましても、地域おこし協力隊に対して、皆さんの提案を伝え、今後の検討材料とさせていただきます。
担当課	企画振興課